県職交渉（７月交渉）概要

１　**日　時**　令和６年６月２６日（水）
２　**場　所**　審理審問室
３　**出席者**　【当局】行政経営部長、人事課長外
　　【組合】委員長、副委員長、書記長外
４　**議　題**　欠員・休職等、大卒一次合格、能登半島地震対応、テレワーク促進月間

項　目	組　合　主　張	当　局　回　答
欠員・休職等	○現時点の休職と長期病休の状況はどうか。 ○昨年度よりは減っているが高止まりだ。特にメンタルは長期化・再発の傾向があるが対策はどうか。	○休職は 36 人、長期病休は 24 人だ。 ○年代的には 20 歳台の者が多いので、昨年度から新採職員等を対象としたメンタルヘルスセミナーを実施している。
大卒一次合格	○６職種で既に公募割れになっているが、１次試験の受験状況についての認識は。 ○対策を色々と考えると思うが確保に向けてしっかり手を打ってくれ。 ○辞退が出ないよう合格者の繋止めも重要だ。	○総じて厳しい状況と認識している。公募数が確保できるよう人事委員会とも話をしていく。 ○就職サイトへの掲載の拡大等、やれることをやっていく。 ○局と協力して取り組んでいく。
能登半島地震対応	○応援に行った人数は。 ○応援派遣者の健康管理対応はどうなっているのか。	○400 人程度の職員に支援業務に従事してもらった。 ○ストレスチェックを行い保健師が面談することとしている。
テレワーク促進月間	○取組の概要は。 ○昨年度のアンケートで、管理職から「課題がある」との回答があったが、課題の内容は分析しているのか。	○テレワークしたいが実施しにくいという声を受けて昨年度取り組んだが、「週単位ではなく月単位の方が良い」とのアンケート意見を踏まえ、今年は働き方改革推進月間の中で取り組むこととしたもの。 ○勤務状態の把握が難しいとの意見や、協議等で細かなニュアンスが伝わりにくいといった声を聞いており、メールやチャット、音声通話の活用等について、今回の取組に合わせてアナウンスしていく。